

## 【2022年卒：緊急アンケート】緊急事態宣言の発出で「就職活動が厳しくなる」と

感じている学生が85.0%。「インターンシップが中止になるのではないか」

「景気の悪化が採用数に影響しないか」など不安の声。

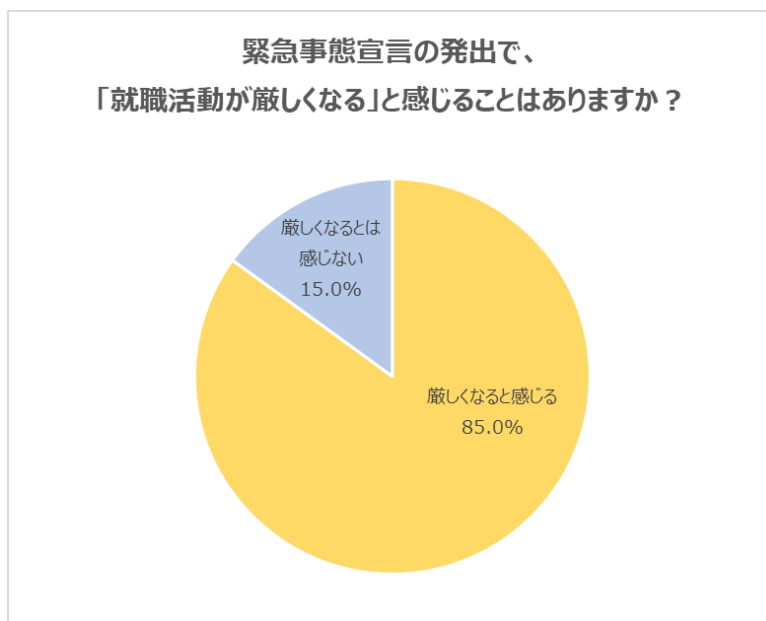
株式会社学情は、11都府県を対象にした緊急事態宣言を受け（※対象地域は1月18日時点。アンケート調査開始時の対象地域は1都3県）、2022年3月卒業（修了）予定の大学生・大学院生を対象に、緊急アンケートを実施しました。85.0%の学生が、「緊急事態宣言の発出で、『就職活動が厳しくなる』」と回答。

「直接企業に訪問する、リアル開催のインターンシップが中止になるのではないか」「景気の悪化で、採用数を減らす企業が増えるのではないか」など、影響を不安視する声が挙がりました。

### 【TOPICS】

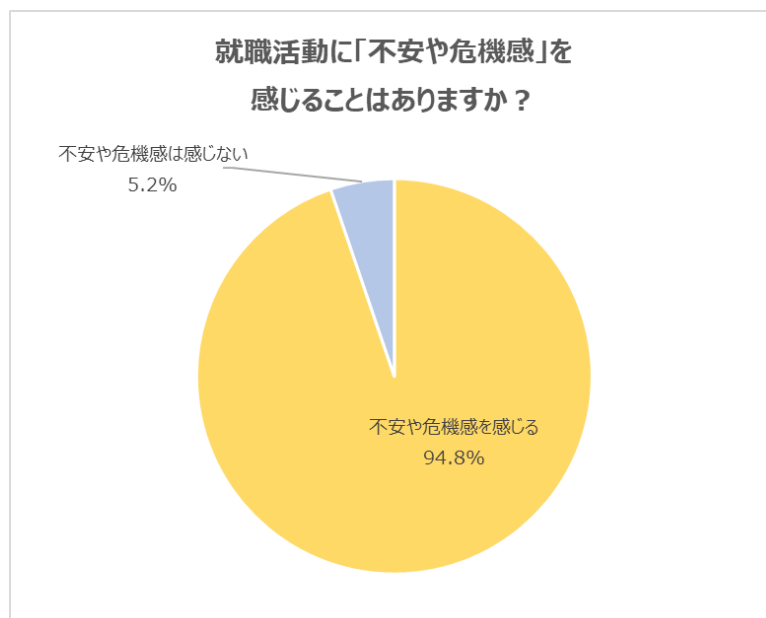
- (1) 緊急事態宣言の発出で、「就職活動が厳しくなる」と感じる学生が85.0%
- (2) 就職活動に「不安や危機感」を感じる学生が94.8%
- (3) 就職活動で感じる不安は、「希望する企業や業種の内定（内々定）を得られるか」が、80.1%で最多

#### (1) 緊急事態宣言の発出で、「就職活動が厳しくなる」と感じる学生が85.0%



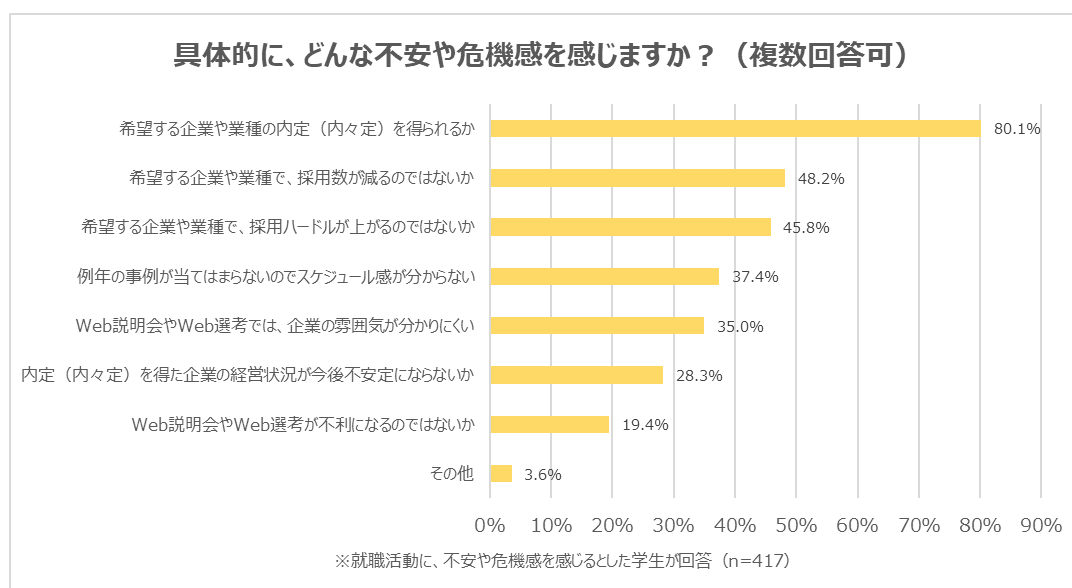
緊急事態宣言の発出で、「就職活動が厳しくなる」と感じている学生が85.0%に上り、「厳しくなるとは感じない」15.0%を大きく上回りました。「企業に直接訪問できる機会が、さらに減りそう」「対面で情報収集できる機会がさらに減り、企業理解を深めることが難しくなりそう」「直接企業に訪問する、リアル開催のインターンシップが中止になるのではないか」など、企業と直接コミュニケーションを取る機会が減ることを不安視する声が寄せられました。また、「景気の悪化で採用数を減らす企業が増えるのではないか」「旅行や観光など、希望する業界で採用を中止する企業が増えるのではないか」など、経済環境の悪化により採用数を減らす企業が増えるのではないかと指摘する声も挙がっています。

#### (2) 就職活動に「不安や危機感」を感じる学生が94.8%



就職活動に「不安や危機感を感じる」学生が 94.8%に上りました。「不安や危機感を感じない」の回答は、5.2%に留まっています。

### (3) 就職活動で感じる不安は、「希望する企業や業種の内定（内々定）を得られるか」が、80.1%で最多



就職活動で感じる不安は、「希望する企業や業種の内定（内々定）を得られるか」が、80.1%で最多。次いで、「希望する企業や業種で、採用数が減るのではないかと」48.2%、「希望する企業や業種で、採用のハードルが上がるのではないかと」45.8%と続きます。採用数が減ったり、採用のハードルが上がることで、内定を得にくくなることに不安を感じている学生が多いことが分かります。

#### ■調査概要

- ・調査対象：「あさがくナビ 2022（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・調査方法：Web 上でのアンケート
- ・調査期間：2021 年 1 月 8 日～2021 年 1 月 13 日
- ・有効回答数：440 名

東証一部上場

学情

